

私は、小樽・後志ブロック代表 4 人の 1 人として、世界大会に参加しました。札幌市民ですが 3 年前から小樽に通勤しており、仕事や様々な活動の中心が小樽に移ってきました。昨年の戦争法反対の行動なども可能な限り小樽も札幌も参加してきました。私は、医療関係の仕事をしており、普段から医療・介護の充実を求める運動に少し関わってきました。医療・介護の充実も、私たちが自由に暮らす事も、平和である事が大前提であると思います。そのすべてを破壊する核兵器や原発は、廃止しなければと思っていましたので、今回世界大会に参加する事が出来て大変嬉しいとともに、大きな責任もあると思いました。

8 月 4 日大会 1 日目は北海道代表団結団式と世界大会開会総会がありました。午前は北海代表団の結団式、総勢 146 人が集い、ブロック毎に大会参加に当たっての決意を發表しました。全道から参加した 14 名の高校生も集合し決意表明、あたたかい拍手が送られました。特別企画では、「被爆者のお話し」として 5 歳の時に被爆された大越さんが、お話しされました。当時広島で起こった惨状、原爆の被害、放射線の被害とはどういうものか、原水禁運動の歴史とこれからの課題等幅広い話をしてくださいました。

昼食の後は世界大会開会総会に参加。開会までの間ステージ上から歌声が参加者を迎えていました。開会では、海外からの参加者も多く、世界各地での運動の取り組みや経験が發表され、世界の多くの人々が核廃絶や平和のための運動に取り組んでいる事が実感できました。平和行進の紹介では、小樽で一緒に歩いた通し行進者の方も元気にアピールしていました。また、国際リレー行進に参加した海外の青年達が紹介され、平和行進の国際的な広がりにも驚きました。開会集会後は、千羽鶴を捧げるために平和記念公園に行きました。初めて見る原爆ドームは、ドームの鉄骨と残された外壁が原爆の破壊力のもの凄さを伝えていました。原爆による白血病で亡くなった佐々木禎子さんや原爆で亡くなった子供達を慰霊するために建てられた「原爆の子の像」にお参りし、千羽鶴を捧げました。平和記念資料館では、原爆による甚大な被害の状況を見てきました。原爆によって破壊された建物と逃げ惑う被爆者を表現したジオラマ模型はリアルで衝撃的でした。しかしこのジオラマは今後の改修工事で撤去される事になっているとか...

8 月 5 日大会 2 日目は分科会。16 ある分科会のなかで私は「岩国基地調査」に参加しました。予想以上に参加者が多く、バス 10 台に分乗し岩国市へ向かいました。岩国基地は、米海兵隊と海上自衛隊が使用する飛行場・基地で、民間機も就航しています。他の基地と同じように、航空機による騒音と住宅地や工業地帯の安全確保が大きな問題となっています。騒音問題は日常生活に様々な障害をもたらしている実情をお話ししてくれました。安全確保の問題では、1997 年から基地の沖合を埋め立て滑走路を 1km 沖合に移設しましたが、その結果面積は 1.4 倍に拡張されました。その背景にはアメリカがすすめている「米軍再編」があり、現在、東京厚木基地の空母艦載機を岩国に移設するなどの受け入れ工事が着々と進められているとの事でした。そしてそれらの莫大な額の費用には、思いやり予算として日本の税金が使われています。そして「米軍再編」計画が完了すると岩国は極東最大の航空基地となります。そして海兵隊と海軍空母の殴り込み部隊の出撃拠点となり、自衛隊との共同作戦が展開出来るようになり、岩国は最も危険な街となってしまいます。これでは、安保条約や基地がある限り、市民の平和で安全な暮らしは訪れないと思いました。基地調査の後は、日本三大名橋に数えられる事もある錦帯橋で自由行動でした。五連アーチから成る木造の橋を渡り、ロープウェイで岩国城を見学に行きました。天守閣からは岩国の街並みを一望でき、城主になった気分が爽快でした。

8 月 6 日大会 3 日目、広島に原爆が落とされた日
平和記念式典に行くために早めにホテルを出ましたが、電車が原爆ドーム前に着いたときにはすでに人は一杯でした。会場周囲に張られた入場規制のロープの外側で式典の進行を見守っていました。
8 時 15 分黙祷

式典が終了すると、中央入口から一般の方も参拝出来るとの事で、人の波に流されながら慰霊碑までたどり着き、被爆して亡くなった方々の慰霊と核廃絶の願いを込めて参拝しました。

閉会総会では、佐々木禎子さんの甥であるシンガーソングライター佐々木祐滋さんとレゲエ歌手の Metis のコラボコンサートが素晴らしかったです。INORI という曲が被爆二世から三世へ引き継がれて出来た、新 INORI を 2 人がデュエット市感動的でした。youtube で見られますので是非検索して見ていただきたいと思います。

閉会総会終了後は期間中貴重なフリータイムで、宮島へ行き世界遺産厳島神社と鹿をゆっくりと楽しみました。夜は広島に戻って灯籠流しを見ました。川面に流れてくる幻想的な灯籠に 71 年前の被爆者の惨状を思い起こしながら、核兵器廃絶、戦争反対の決意を新たにしました。

この大会の中でも被爆者の高齢化と運動の継承が課題と言われましたが、北海道代表団でも 30 歳以下が 57% を占め、高校生も 14 名参加と若い世代の参加が多く青年交流会も盛況でした。私は送り出してくれた小樽で今回の経験を広め、若い世代ともに原水禁運動を発展させていきたいと思いました。大変密度の濃い 4 泊 5 日の世界大会でした。